

かめやま 社協だより



～わたしが抱えた悩みや不安なこと～

死後事務や相続の場面)

関係者が大変困ります！

資産状況は？

などの契約状況は？

マイナンバーに記載

特集

話し合おう大切な人と。

～これまでのこと これからのこと～



社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会
社協だよりは市民の皆様からいただいている会費で発行しています。

生活・福祉のお困りごと
ご相談ください ☎82-7985



話し合おう大切な人と。

～これまでのこと これからのこと～

これまでの生活の中で、楽しかったことや思い出を語り合ったり、これからの人生設計について相談をしたことはありますか？

これまでの“じぶん”を振り返り、見つめ直してみたり、これからを“じぶん”らしく生きるために、希望や想いを話し合ってみませんか。

自分の想いを整理したり、その想いを家族や大切な人と共有したりするツールの1つとして、亀山市版エンディングノート「**じぶんノート『～わたしが伝えたい大切なこと～』**」をご活用ください。

じぶんノートについて



使 い 方

●自分の想いの整理に…

これまでの人生を振り返り、自分自身の価値観や大切にしてきたことを振り返る機会になります。心の中の想いや希望を書き出してみることによって整理することができます。



●大切な情報の記録用に…

自身の財産や契約情報などを整理することは、現在の状況を把握し、今後のライフプランを考える上で役立ちます。また、いざという時のトラブルや手続きの混乱を防ぐことにも役立ちます。

●家族や大切な人とのコミュニケーションツールに…

自分の想いや希望についてノートに書き留めた内容を、家族や大切な人と共有することで話し合うきっかけになります。また、普段はなかなか言えない感謝を伝えることもできます。



内 容



自分自身の のこと

- ・基本情報
- ・思い出
- ・家系図 など

財産・契約 のこと

- ・資産と負債
- ・成年後見制度 など

介護・医療 のこと

- ・健康状態
- ・医療や介護の希望 など

葬儀・お墓・ 遺言のこと

- ・葬儀
- ・お墓
- ・遺言書 など



作成のポイント

- ✓ 書きやすいところから気軽に書き始めましょう
- ✓ 何度でも書き直せます
- ✓ 定期的に内容を見直しましょう
- ✓ ノートの法的な効力はありません
- ✓ ノートは大切に保管しましょう



配布場所

- ・ 亀山市立医療センター
地域医療課地域連携グループ
- ・ 亀山第1地域包括支援センター「ぼたん」
- ・ 亀山第2地域包括支援センター「もくれん」
- ・ 総合保健福祉センター「あいあい」
地域福祉課高齢者支援グループ
亀山市社会福祉協議会
基幹型地域包括支援センター「きずな」



じぶんノートを活用してこれからのことを考える時、自分の想いを伝えることが難しかったり、判断に不安を感じたりした場合には、亀山市社会福祉協議会がサポートします！

日常生活自立支援事業

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力に不安のある方と社会福祉協議会が契約を結び、地域で安心して生活を送っていただけるようサポートします。

- ・ 福祉サービスの利用援助
- ・ 日常的な金銭管理
- ・ 書類などの預かり

成年後見サポート事業

判断する能力が十分でない方を法律的に支援する成年後見制度の相談を受けたり、成年後見人などとして活動している方へのサポートをします。

- ・ 相談支援
- ・ 手続き支援
- ・ 成年後見人などへの相談支援
- ・ 法人後見

【相談先】 総合保健福祉センター「あいあい」2番窓口 生活支援係 TEL 0595-82-7985

家族や大切な人と話し合ってみませんか？

自分が大切にしたいことやこれからどのように暮らしていきたいのか…などについて伝えておくこと、教えてもらっておくことで自分や家族、大切な人が“じぶん”らしく暮らしていくことに繋がっていきます。

ぜひ、この機会に家族や大切な人と話し合ってみませんか。



令和6年度事業報告・決算報告（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

令和6年度の亀山市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、地域共生社会の実現に向け、誰もが安心して明るく元気に暮らすことのできる福祉のまちづくりの推進を目指し、地域福祉計画及び年度当初策定しました事業計画に基づき、さまざまな事業を実施しました。

※主な事業及び決算を掲載しています。詳細については社協ホームページをご覧ください。

事業報告＜重点項目＞

◆地域福祉力向上重層的支援体制整備事業の推進

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の配置

CSWが個別支援・地域支援・しくみづくりについて、多様化・複合化した福祉課題の解決に向け取り組みました。

・相談件数 新規相談件数89件 延べ相談件数 1,555件

多機関協働による包括的支援体制の推進

分野を超えた多機関による支援が行えるよう、市に配置している相談支援包括化推進員とCSWが連携し、課題解決に向け取り組む包括的支援体制を推進しています。各支援関係機関の役割分担や支援の方向性を定めたプランを作成し、ネットワークを作りながら課題解決に向け取り組みました。

・全庁展開、関係機関に向けた説明会
・地域福祉シンポジウムの開催

参加支援への取組み

亀山市参加支援(就労体験等)事業 協力事業所 6事業所
オンライン居場所の施行運用



◆地域包括ケアシステムの実現に向けた機能強化

基幹型地域包括支援センター事業

地域包括支援センター(2圏域)の後方支援
地域包括支援センターからの相談対応
自立支援型地域ケア会議の開催 等

生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置

住民参加型在宅福祉サービス(ちょこボラ)への支援
地域福祉カルテの更新
高齢者のための社会資源のしおり作成

認知症初期集中支援チーム員の配置

相談件数 320件

認知症地域支援推進員事業

認知症サポーター養成講座の開催 21回
チームオレンジかめやまの活動支援



◆ボランティア活動の推進及び 災害ボランティアセンターの機能強化

ボランティアセンター事業

ボランティアセンター登録 31団体 529名
ボランティアコーディネート 43件
福祉ボランティア基金団体助成 4団体
亀山市市民活動・ボランティアセンター
「ぷらっと」基本協定締結式

災害ボランティアセンター事業

災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施
三泗鈴亀ブロック社協災害時広域連携協議会
における 広域連携訓練の実施
災害時外国人住民支援事業への参加

◆生活相談・支援に関する事業

総合相談事業

心配ごと相談 相談件数 94件
成年後見等の法律相談 相談件数 43件

生活困窮者自立支援事業

(自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業)

延べ相談件数 913件

生活福祉資金等貸付相談及び貸付事業

相談件数 59件 貸付件数 11件

緊急食糧等提供事業

提供件数 81件

◆サロン活動の推進

サロン活動の推進

地域住民やボランティアが主体となって、地域の身近な場所に集まって過ごすサロン活動の推進
ふれあい・いきいきサロン 88団体
子育てサロン 6団体
コミュニティサロン 19団体

◆福祉教育推進事業の充実

福祉教育推進事業

福祉教育推進校(園) 16校19園
 ※うちモデル指定校(園)の取り組み
 (川崎愛児園)
 中高生のインターンシップ受入れを通しての交流
 (昼生小学校)
 民生児童委員や障がいのある方のお話を通しての学習
 (亀山高等学校)
 手作り作品のプレゼント、高齢者施設へ訪問交流

◆成年後見サポート事業の推進

成年後見サポート事業

相談件数 延べ177件
 ・法福連携ネットワーク協議会の開催
 ・成年後見サポート(受任調整)会議の開催
 ・成年後見セミナーの開催
 ・金融機関・消費生活センターとの意見交換
 ・エンディングノート(じぶんノート)の作成
 ・法人後見の受任
 新規受任件数 1件 受任実件数(補助類型) 2件
 支援回数 117回

日常生活自立支援事業(認知症高齢者、障がいの者の金銭管理及び書類預かりサービス)

契約者数 38名 支援回数 1,131回

◆組織基盤の強化

会務の運営

理事会(5回) 評議員会(4回) 監事監査(2回)

基盤の強化(会員制度の啓発及び推進)

普通会員・特別会員 10,567名

中期経営計画の推進

人材育成計画及び研修計画の推進

社会福祉大会の開催

社会福祉功労者の表彰及び記念講演
 約150名参加

亀山市社会福祉法人連絡会への参画及び支援

14法人が参画する、亀山市社会福祉法人連絡会の参画および事務局支援

◆福祉サービス事業の充実

特定・障害児相談支援事業

契約者数 90件

訪問介護・居宅介護・同行援護事業

(ヘルパーによる身体介護、生活援助)

介護保険制度 派遣回数 3,787回

障害者総合支援制度

・居宅介護事業 派遣回数 1,040回

・同行援護事業 派遣回数 22回

障害福祉サービス生活介護事業所「つくしの家」の運営

つくしの家 利用者数 33名

日中一時支援事業

契約者数 30名

◆その他福祉に関する事業

小地域ネットワーク活動事業

地区福祉委員会活動助成 22地区

福祉委員 332名

福祉移送サービス事業(歩行困難、寝たきりの方を対象)

登録者数 35名 延べ運行回数 1,476回

介護機器貸出事業

車椅子 261件 歩行器 3件

実習生の受入

社会福祉士養成課程及び看護学生 5名

能登半島地震における被災地支援

社協ブロック派遣職員 3名

募金箱の設置、災害義援金の受付

決算報告

積立預金取崩収入・その他の収入
10,128千円(4.1%)

受取利息配当金収入
91千円(0.1%)

障害福祉サービス等事業収入
51,549千円(20.7%)

就労支援事業収入
192千円(0.1%)

介護保険収入
13,644千円(5.5%)

負担金収入 200千円(0.1%)

事業収入 1,087千円(0.4%)

会費収入
3,426千円(1.4%)

寄付金収入
887千円(0.3%)

経常経費補助金収入
67,918千円(27.3%)

収入の部

合計
248,389千円

受託金収入
99,267千円(40.0%)

生活困窮者
自立支援事業費
24,293千円(10.0%)

地域包括支援事業
37,698千円(15.5%)

障害福祉サービス事業費
39,660千円(16.3%)

訪問介護事業費
19,205千円(7.9%)

福祉移送サービス事業費
6,006千円(2.5%)

社会福祉センター管理
9,723千円(4.0%)

成年後見事業 3,949千円(1.6%)

法人運営事業費
61,683千円(25.4%)

支出の部

合計
243,007千円

地域福祉・ボランティア事業費
9,170千円(3.8%)

重層的支援体制整備事業
20,486千円(8.5%)

共同募金配分金事業費
5,865千円(2.4%)

日常生活自立支援事業
4,942千円(2.0%)

資金貸付事業 327千円(0.1%)

●会長就任のご挨拶

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会
会長 榎 谷 英 一

この度の亀山市社会福祉協議会の役員改選に伴い、理事の皆様のご推挙とご賛同を賜りまして、令和7年6月25日付で、会長として7期目の就任をいたしました。引き続き市民の皆様方からのお力添えを賜りながら、地域福祉の推進に取り組んでいく所存でございます。



さて、コロナ禍を経た社会の急速な変化や新たな地域生活課題の顕在化、想定を超える速さで進行する少子化、高齢化、人口減少、また地域社会の脆弱化など社会構造が変化していく中、われわれ社会福祉協議会に求められている期待と役割は年々大きくなってきて

いると感じております。

そのような中、本会は、地域福祉活動を推進する中核的な団体として、支援が必要な人や支援が届いていない人を見逃すことなく受け止め、市民の皆様一人ひとりが自分らしく暮らすことができ、お互いが支え合うことで誰もが社会とつながりを持つことができる「地域共生社会」の実現に向け、地域住民の皆様や関係機関の方々とつながり、一体となって地域づくりを進めていきたいと考えております。

今後も市民の皆様の信頼と期待に応えられるよう役職員一丸となって地域福祉活動を推進して参りますので、市民の皆様には引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げ、会長就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。

新役員紹介 (令和7年6月25日現在)

会 長：榎谷英一(学識経験者)

副 会 長：安田 正(地域福祉・ボランティア活動を行う団体の代表者)、小林智子(民生委員・児童委員の代表者)

常務理事：藤本高尚(学識経験者)

理 事：伊藤充子(住民組織の代表者)、名越 平(民生委員・児童委員の代表者)、佐野知之(社会福祉事業を経営する団体の役職員)、山本伸治(関係行政機関の職員)、林秀臣(関係行政機関の職員)、山口ゆかり(学識経験者)

監 事：福島郁夫(財務管理について識見を有する者)、龍華弘道(社会福祉事業について識見を有する者)

●第21回亀山市社会福祉大会のご案内

●日時／令和7年10月27日(月) 13:00～受付 13:30～開会

●場所／亀山市文化会館 中央コミュニティセンター(亀山市東御幸町63)

●内容／亀山市内における社会福祉功労者顕彰及び記念講演

講師：認定特定非営利活動法人長野県NPOセンター事務局次長 古越 武彦 氏

演題：「自然災害に備えて ～平時からの『つながり』が命を守る～」

●問い合わせ／亀山市 健康福祉部 地域福祉課 TEL 0595-84-3311

亀山市社会福祉協議会 総務係 TEL 0595-82-7985

一般の皆さまの
ご参加もできますので
ぜひご来場ください



●令和7年度社会福祉協議会会費にご協力ありがとうございます

皆様にご協力いただきました会費は、市内の福祉活動の推進に役立てさせていただきます。

今後ともご理解・ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

善意の寄付 (令和7年6月5日～令和7年9月5日まで)

クミ化成株式会社三重工場 様、亀山市関B&G海洋センター三幸スポーツマックス共同体 様

お寄せいただきましたご芳志は、社会福祉事業のため有効活用させていただきます。厚くお礼申し上げます。

亀山市の福祉指数 (令和7年9月1日現在)

市総人口 49,128人 65歳以上の人口 13,538人(男性6,043人 女性7,495人)

世帯数 22,711世帯 18歳以下の人口 8,239人(男性4,245人 女性3,994人)

高齢化率 27.6%

印刷

株式会社 一誠堂

リサイクル適性(A)

再生紙を使用しています。

発行 社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会

〒519-0164

亀山市羽若町545番地 市総合保健福祉センター「あいあい」内

☎ 0595-82-7985 FAX 0595-83-1578

公式HP <https://kameyama-shakyo.or.jp>

facebook <https://facebook.com/kameyama.shakyo>

各WEBサイトに
アクセスできます!

Face
book



ホーム
ページ



You
Tube



鈴鹿 voiceFM (78.3MHz)

出演中!

ラジオ亀山社協だより

放送日: 毎月第1火曜日の14:20頃

生放送ラジオ番組「めっちゃずさか!」内